

鴨川における特定外来生物「オオバナミズキンバイ」駆除活動の実施について

令和 6 年 9 月 11 日
京都府自然環境保全課

鴨川において、生態系に重大な影響を与える特定外来生物「オオバナミズキンバイ」の拡大を防止するため、京都府、鴨川を美しくする会、(一社)鴨川流域ネットワークが主催となり、オオバナミズキンバイの駆除活動を実施しました。

➤ 実施結果概要

1. 日 時 6月30日(日) 9時15分～11時30分

2. 活動範囲 鴨川 正面橋～塩小路橋付近

3. 駆除重量 600kg

4. 主催、参加団体等

主 催：京都府、鴨川を美しくする会、(一社)鴨川流域ネットワーク

後 援：環境省近畿地方環境事務所、京都市、(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構、きょうと地域創生府民会議、京と地球の共生府民会議

協 力：滋賀県、藤田医師、竹内医師、救援ボランティア左京、きょうと生物多様性センター

参加団体：カモシネマ実行委員会、学校法人立命館、堀場製作所OB会、NPO 法人国際ボランティア学生協会 IVUSA、XOクラスター

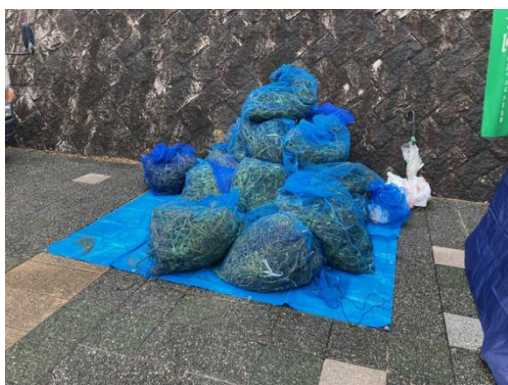
5. 参加人数 71名(うち駆除作業従事者57名、スタッフ14名)

○正面橋～塩小路橋付近に生育する群落を駆除した。

○降雨で中洲の群落は駆除できなかったが、寄り洲の群落は概ね駆除できた。

○今後とも、専門家等の意見を踏まえて、継続して、オオバナミズキンバイの駆除活動に取り組んでいく。

➤ 駆除活動状況



第7回 鴨川オオバナミズキンバイ駆除活動 実施要領

鴨川で拡大している外来植物「オオバナミズキンバイ」を駆除します。

オオバナミズキンバイは中南米原産の外来植物です。葉や茎の切れ端からでも再生するほどの驚異的な繁殖力を持っており、水面を覆い尽くし、他の生物の生息や漁業の障害となるなど、生態系や人の暮らしに大きな影響を与えています。関西地方では琵琶湖を中心に猛威を振るっており、鴨川でも侵入が確認されています。平成26年には「外来生物法」に基づく「特定外来生物」に指定され、駆除の対象とされています。



日 時：令和6年6月30日(日)9時15分～11時30分（受付：9時00分～）
※小雨決行、荒天等の場合は7月7日(日)に延期します。

荒天等により活動を中止する場合、6月29日(土)18時頃に団体代表者あてに連絡します。

集合場所：鴨川左岸 塩小路橋北(京阪七条駅から徒歩10分程度) ※詳細は裏面地図参照

活動区域：正面橋～塩小路橋付近

活動内容：外来植物「オオバナミズキンバイ」の駆除

人 数：約80名
※体力に自信のある方の参加を推奨します。

服 装：汚れたり濡れたりしてもよい服装でお越してください。

持 ち 物：雨具(小雨決行のため)、帽子、飲み物
【可能な方のみ】胴長、防水パンツ、長靴、軍手

保険など：参加者全員、ボランティア保険に加入します。
(保険料は主催者で負担します。)

申込方法：別添のとおり、FAXまたはメールにてお申し込みください。

(要事前申込:別紙) 締切 6月21日(金)

主 催：京都府、鴨川を美しくする会、(一社)鴨川流域ネットワーク

後 援：環境省近畿地方環境事務所、京都市、(公財)琵琶湖・淀川水質保全機構
きょうと地域創生府民会議、京と地球の共生府民会議

協 力：滋賀県、救援ボランティア左京、藤田医師、竹内医師、きょうと生物多様性センター

参加団体：カモシネマ実行委員会、学校法人立命館、堀場製作所 OB 会、NPO 法人国際ボランティア
学生協会、XO クラスター



■活動にあたっての注意事項（感染症、熱中症への対策）

- ①. 当日、発熱や体調不良などがある場合は、活動への参加をお控えください。
- ②. こまめに水分補給をしてください。水分は各自でご用意ください。

■当日の流れ

1. 受付

2. 道具の受け取り

・駆除に使用する道具（軍手、鎌など）を受け取ってください。

3. 開会（主催者挨拶、作業の説明など）

4. 駆除活動

・最後に駆除した植物体を収集し、河川敷に運搬します。

5. 閉会（主催者挨拶など）

■当日の集合について

時間 9時00分～9時15分（受付）

場所 鴨川左岸 塩小路橋北

（京阪七条駅から徒歩10分程度）

※本部テントまでお越しください。

※原則、公共交通機関でお越しください。

※車両の乗入れには、事前申請が必要です。

準備物運搬等、車両でお越しの場合は必ず、

事前に連絡をください。

臨時駐車場は塩小路橋右岸北詰め河川敷



（現地地図）

（参考）昨年度の活動の様子



水面に伸びたオオバナ
ミズキンバイを回収



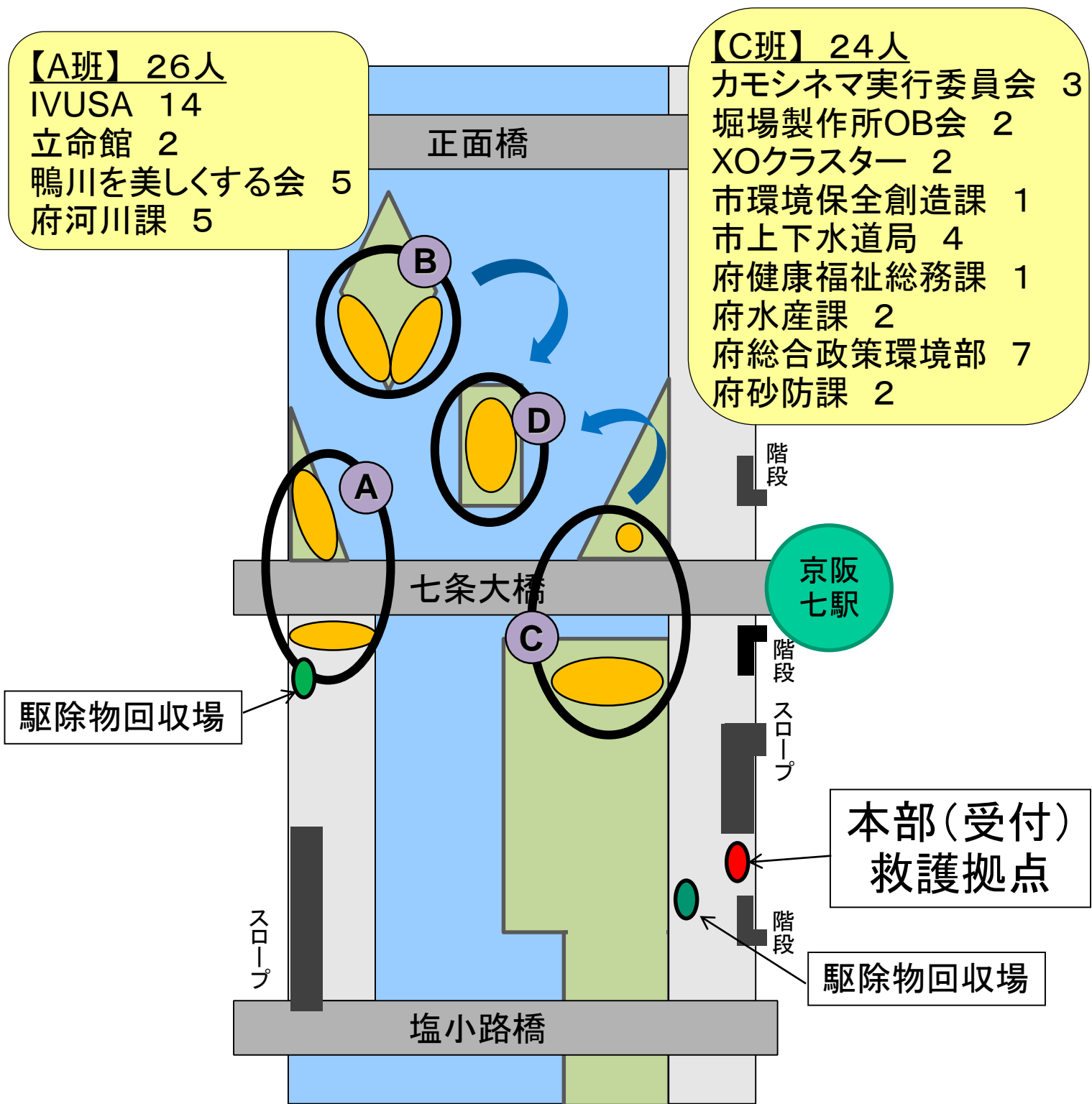
陸上に生えているオオ
バナミズキンバイを根
から掘り起こして回収



回収したオオバナミズ
キンバイは、まとめた後
に処分

鴨川オオバナミズキンバイ駆除活動範囲 地図

: 寄州、中州
 : 河川敷歩道
 : 生息確認場所



特定外来生物

サクラやウメを
食い荒らし枯らす!

クビアカツヤカミキリ 警戒中!!!

木クズを見つけたら
要注意!!



フラス

(幼虫のフン・木クズ)

©(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

つかまると
臭い液を出す

胸部(首の部分)
が赤い!

実寸大
(体長 2.5~4cm)



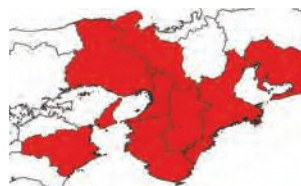
5月末~8月頃
成虫発生!

光沢のある
黒いボディ

成虫を見つけたら、
踏み潰すなどして駆除を!

もともと日本にいなかった外来のカミキリムシですが、2011年に埼玉県で確認されて以来、急速に分布を拡大しています。

クビアカツヤカミキリの侵入地域(2024.7)



京都では2024年7月に
初めて確認されました

大阪、兵庫、奈良など近隣地域でも被害拡大中!

国土交通省国土数値情報(行政区域データ)(<https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-N03-2024.html>)をもとにぎょうと生物多様性センター作成

木の内部を食い荒らし 枯らす!

主にサクラやウメなどのバラ科の樹木に付き、幼虫が木を内部から食い荒らします。木からは大量のフラス(幼虫のフンと木クズが混ざったもの)が排出され、侵入された木は弱り、枯れてしまいます。

防除のご協力をお願いします。 みなさまの力で京都のサクラ等を守りましょう!

見つけたら京都府まで
通報をお願いします

京都府 自然環境保全課

TEL/FAX
メール

075-414-4706 / 075-414-4705
shizen-kankyo@pref.kyoto.lg.jp

WEB フォームでの
通報はこちらから



影響

もしクビアカツヤカミキリの被害が拡大したら…

⚠️ お寺や神社の **サクラやウメが枯れてしまう!**

⚠️ 桜の名所が **なくなる!**

⚠️ ウメやモモなどの **果樹が作れなくなる!** かも…



© (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

< 樹木内の幼虫 >

被害を防ぐためには **早期発見が重要!**

クビアカツヤカミキリの幼虫は

およそ **2年間** も木の中にいる



4月~10月頃
確認がしやすい!

探す
手がかりは

フラス

(幼虫のフンと木クズが混ざったもの)

<クビアカツヤカミキリの一生>

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

1年目		卵	幼虫
2年目	幼虫	蛹室をつくる	幼虫 (蛹室内)
3年目	幼虫 (蛹室内)	蛹 → 成虫	成虫

初夏~盛夏に卵を
木に産みつける

フラスの特徴

よく見られるフラスの様子



© (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

2~5mm ほどの太さで、
ひき肉のように
連なって出てくる

フラスの拡大写真

拡大すると、木くずはスプーンで
くりぬいたような形をしている



被害の進んだサクラ

被害が激しくなると、
木の地際に大量の
フラスがたまってくる



© (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

もしも発見したら…

成虫の捕殺や被害木に防風ネットを巻き付ける
などの防除のご協力をお願いします。

参考文献：国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所「クビアカツヤカミキリの防除法」

- 首の赤いカミキリムシを見つけた
- サクラやウメから木クズが大量に出ている

ご連絡ください

WEB フォームでのご連絡はこちらから→



© (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所

京都府 自然環境保全課

TEL 075-414-4706 FAX 075-414-4705

メール shizen-kankyo@pref.kyoto.lg.jp

クビアカツヤカミキリ
について詳細はこちら→
<https://www.pref.kyoto.jp/gairai/kubiakatsuyakamikiri.html>

